

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	19073
課題名	肺がん患者の治療時期による身体機能と生活の質の特徴およびその関連性
研究期間	倫理委員会承認後 ～2024年 3月 31日
研究の対象	2018年5月～2020年10月に当院呼吸器内科病棟に入院し、リハビリテーションを実施した進行肺がん（StageⅣ・再発）の方。
利用する試料・情報の種類	<p>■診療情報（詳細：年齢、性別、肺がん組織型、治療内容、病期、既往歴、筋力、運動耐容能（6分間歩行）、歩行速度など）</p> <p><input type="checkbox"/>手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ）</p> <p><input type="checkbox"/>血液</p> <p>■その他（質問紙：生活の質（EORTC-QLQ-C30）、倦怠感（Cancer Fatigue Scale）抑うつ（Hospital Anxiety and Depression Scale））</p>
研究の意義、目的	<p>進行肺がん患者は呼吸困難や倦怠感、食欲不振、疼痛などの症状により、生活の質（QOL）を低下させます。また、治療により筋肉量の減少や筋力、持久力といった身体機能の低下を引き起こすとされています。しかし、進行肺がん患者の身体機能とQOLの関係について報告しているものはありません。生命予後にはQOLが影響していることが述べられており、身体機能とQOLの関連を調査することで、理学療法士としてQOL低下の予防方法の確立に示唆を与えることができると考えております。</p>
研究の方法	<p>電子カルテより過去のデータを使用し検討します。使用しているデータは以下の通りとなっています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 患者基本属性：年齢、性別、身長、肺がん組織型、治療内容、病期、既往歴、喫煙歴、家族構成、脳・骨転移の有無、酸素療法の有無、初回診断時から転帰時までの日数、転帰（自宅・転院・死亡）、在院日数 2. 身体機能評価：筋力、運動耐容能、歩行速度 3. 栄養状態の評価： <ol style="list-style-type: none"> ① Body Mass Index（体格指数） ② Alb値（アルブミン値） 4. 調査票による評価項目（カッコ内は評価用尺度）： <ol style="list-style-type: none"> ① 日常生活活動（Functional Independence Measure） ② QOL（EORTC-QLQ-C30） ③ 倦怠感（Cancer Fatigue Scale） ④ 抑うつ（Hospital Anxiety and Depression Scale）
その他	
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出</p>

下さい。試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究への利用を拒否する場合の連絡先

旭川市緑が丘東2条1丁目1番1号 TEL：0166-65-3550

リハビリテーション部 理学療法士 村岡 法彦

研究責任者：リハビリテーション部 理学療法士 村岡 法彦